

言葉の海

能村 研三

八月のお盆

人 逝 け り 一 角 青 き 梅 雨 の 空

千田敬さんを悼む

網 戸 打 つ 雨 の 音 聞 く 訃 報 か な

ホルムズは地図に小さし片白草

辞書割つて言葉の海へ梅雨滂沱

遠 泳 の 果 て て よ り 身 に 残 る 波

流 れ 藻 を 蹴 つ て 遠 泳 返 し 点

土 地 勘 の 無 き 日 雷 の 交 差 点

シ ャ ワ ー 浴 ぶ 完 敗 の 身 の ま だ 熱 き

昼 寝 覚 水 平 線 が 見 た く な る

持 ち 時 間 知 り 尽 く し た る 法 師 蟬

私が住む市川では、盆供養を七月に行う家と、八月に行う家がある。東京に隣接しているため、都会から移り住んでいる人の家と、昔からここを故郷とする家ではお盆の時期が異なることになるのだろう。スーパ―に行くときまだ梅雨の名残の頃に、そして八月は十日を過ぎた頃からお盆の用意のものが並ぶ。

我が家は東京に菩提寺を持つ家であるから七月のお盆が自然なのだが、八月にお盆を迎える習慣となっている。

これは、父登四郎が教師であったことから、七月は定期考査があるため答案の採点に追われているころであったことと、やはり俳人としてのこだわりから秋の季語となるお盆は八月にやることになったのだろう。

菩提寺の谷中の延壽寺は今年も七月十日にお盆の施餓鬼法要が行われこの時に私たちも墓参をするが、八月にも寺に出向き、正式な墓参をするのが習いとなっている。谷中界限

は七月のお盆の家が多いようで、八月のお盆の頃は町も閑散としている。延壽寺のご住職は、能村家の特殊な事情をよく理解いただき、棚経には八月のお盆に来て、お参りをいただくことになっている。有難いことである。

お盆は本来、先祖の霊を迎えて家族や親族が集まる行事で、会社の休みや学校の夏休みが八月に集中するので、この時期の方が帰省や集まりがしやすくなるからだろう。盆踊りや花火大会、精霊流しなど、多くの行事が八月に行われることが多く「夏の盛りにご先祖さまと過ごす」という感覚そのものが、八月のお盆を季節の行事として迎え入れているのだろう。

盆路をつくるや瑞の夜空あり
梢なる鳥のこころで門火見る

登四郎

朴の木をしるべに父の盆路かな

研三

能村 研三